



11年9月24日
法 704 號
貯蓄 2678 號


發送 貯蓄 淨資



11. 9
前 10 12

局長 

課長 

法 

結了
有添付物

主務課編纂

Handwritten notes in the right margin.

Handwritten notes in the right margin.

宋 田 答
貯金局長名

日本銀行國庫局長
高橋 臻 宛

軍事救護費歳去金支拂ニ関スル件

五月十五日國甲第二十一號ヲ以テ標記ノ件ニ関シ

11. 7. 20

御來照ノ次第ニ有之候ニ付内務省側ト打合
ノ結果爾今此ノ種歳出金支拂通知書ノ債主
ニハ市町村長ノ省書ヲ附記セザルコト、シ隨テ各
郵便局ハ債主本人ニ拂渡スコトニ相成候條此段
及回答候也
追而内務省ヨリ地方長官宛通牒ノ写別紙ノ通り及添
付候爲念

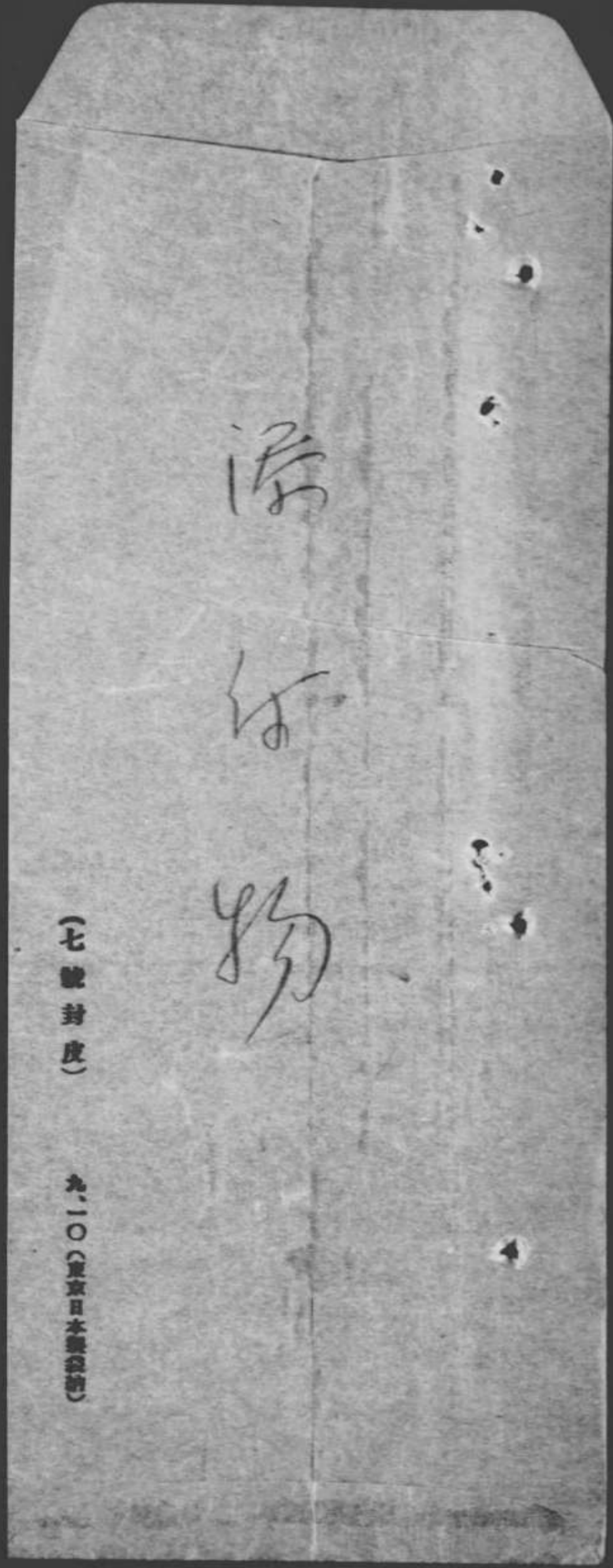
敬具

通信事務

殿

貯金局

在中物なし



添

付

物

(七號封皮)

九、一〇(東京日本郵便局)

在中物なし

貯業

庶務課
1627
11.9.16

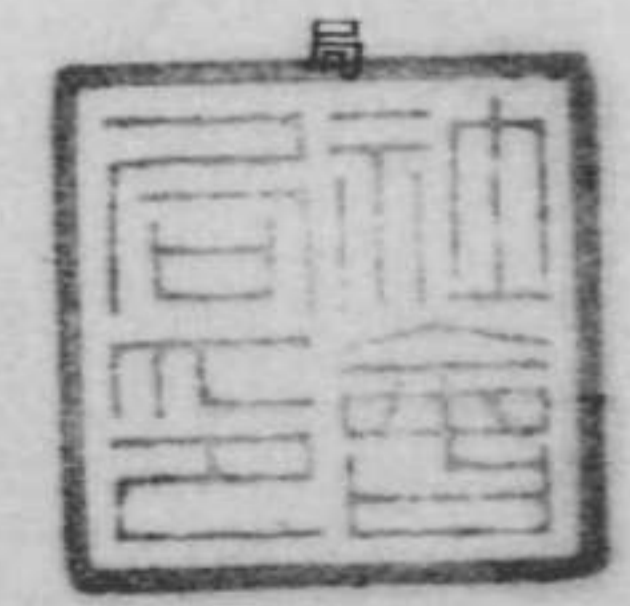
社發第一六一號

昭和十一年九月十六日

貯金局御中
社
會

軍事救護費歳出金支拂ニ關スル件回答

八月二十四日貯業第一三五一號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ御照會有之候處右ハ各地
方長官ニ對シ別紙寫ノ通達牒致候條御了知相成度



一葉添付
封皮添付

社會局

裏面白紙

規格 B. 5.

法第 第

社發第一六一號

昭和十一年九月十五日

社會局社會部長

各地方長官殿

軍事救護費歳出金支拂ニ關スル

件通牒

軍事救護費ノ受領方ヲ被救護者カ市町村長等ニ委任シタル場合之カ歳出金支拂通知書債主ヲ市町村長等ノ公職氏名ヲ以テ指定スル向有之候得共右ハ市町村長ノ地

位ニ在ル者ノ私法上ノ代理行爲ト認メラ
ルルヲ以テ支拂通知書債主ニハ市町村長
ノ肩書ヲ附セサルヲ適當ト被認候ニ付之
カ取扱ヲ改メラルル様致度

貯金局

馬中

北院一七

在中物なし

東京市麴町區外櫻田町一番地

社 會 局

電 話

三	五	五	五	五	五
〇〇〇	六六	六一	六一	六一	六一
九七四	〇九	〇九	〇九	〇九	〇九
四八三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
社	社	社	社	社	社
會	會	會	會	會	會
局	局	局	局	局	局

在中物なし

未結了
11.8.24

11年8月22日

送 615 號
業 1351 號

送 送 送
送 送 送

11.8.24
11.8.24

照會案

局

田

課長

田

法

小林

局

名

内務省社會局宛

軍事救護費支出金支拂ニ関スル件

右ニ関シ昭和七年九月十五日附収社第六

甲社
第127号
11.8.24

三一號ヲ以テ御回答、次第モ有之候處
 其、後他府縣ニ於テモ同様ノ取扱ヲ爲ス
 向有之爲支障不尠候ニ付テハ此際
 歳出金支拂通知書ノ債主ニ市町村長ノ
 肩書ヲ附記セサル様全國的ニ統一方可
 然御配意相煩度此段及照會候也

(共6號)

寫

收社第六三一號ノ内

昭和七年九月十五日

貯金局 御中

社 會 局 印

軍事救護費歳出金支拂ニ關スル件回答

八月二十二日貯業第二三八六號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ御照會相成候處
 右ハ町村長ノ地位ニ在ル者ノ私法上ノ代理行爲ト認メラレ候尙青森縣
 知事ニ對シテハ別紙寫ノ通通牒致置候條御了知相成度

(共8號)

水
本邦運布吉ノ
佐主ニ此ニ
町村及ノ唐吉
ヲ留記セシメテ
ニ添ムル旨

寫

收社第六三一號ノ内

昭和七年九月十五日

青森縣知事殿

社會局社會部長

軍事救護費歳出金支拂ニ關スル件通牒

標記ノ件ニ關シ貯金局ヨリ別紙寫ノ通照會有之候處右ハ私法上ノ代理
行爲トシテ取扱フヘキモノト被認候ニ付之カ取扱ヲ改メラルル様致度

(共8號)

寫

昨業第二三八六號

昭和七年八月十日 立案

昭和七年八月廿二日發送

局長 課長 係長 業 法

照會

内務省社會局宛

局

軍事救護歳出金支拂ニ關スル件

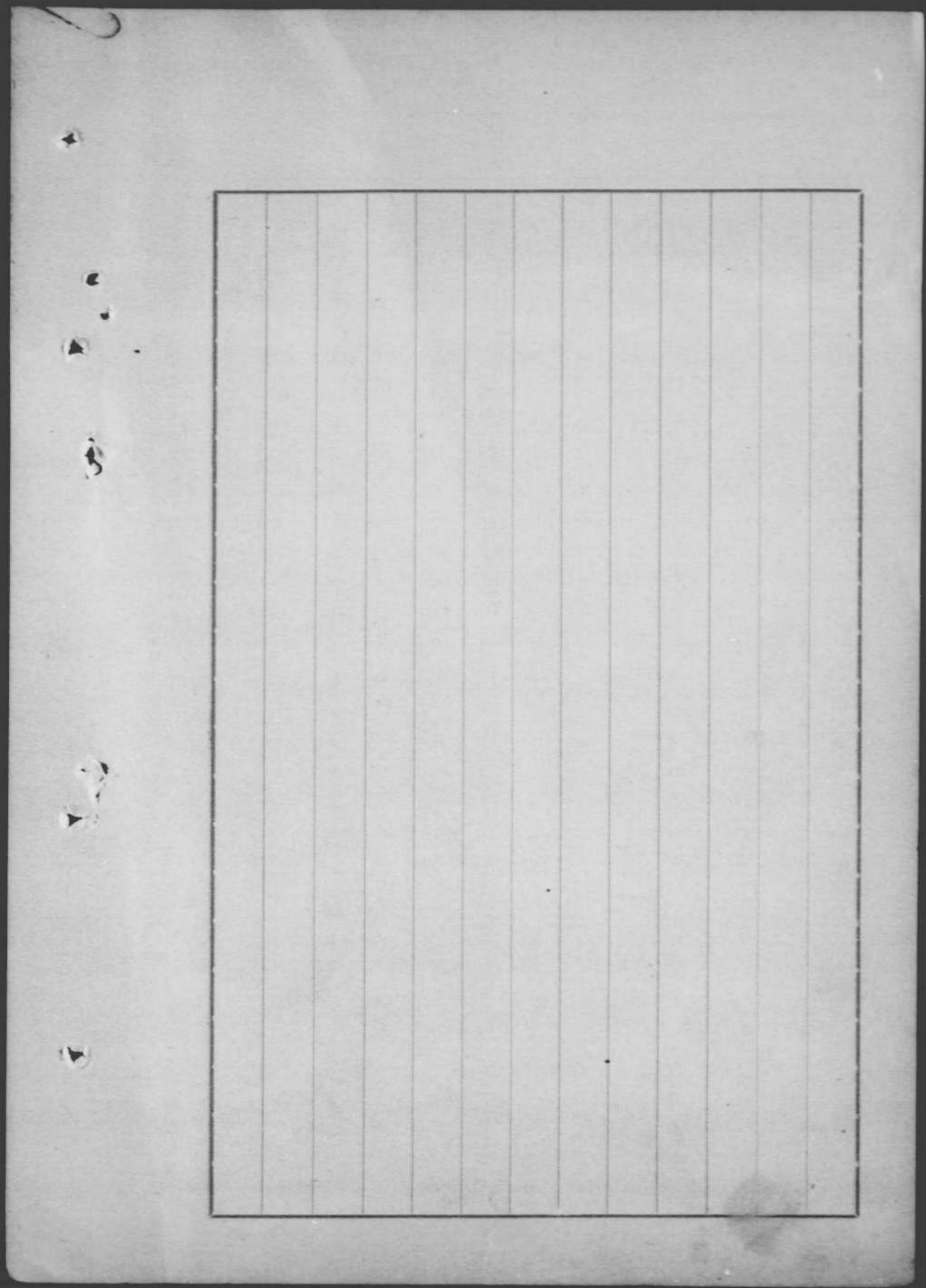
青森縣發行ノ軍事救護法ニ依ル歳出金支拂通知書主ニハ町村長等ノ公職氏名ヲ以テ指定スルモ本件救護費ハ町村自治体ノ收支ニ關係ナク單ニ私法上ノ代理行爲ナルヲ以テ町村長本人ニ支拂方縣當局ヨリ申出ノ

(共8號)

次第モ有之郵便官署ノ取扱上支障少カラス候處債主ニ町村長公職氏名ヲ以テ指定セルモノハ一般ニ町村收入役ニ拂渡スヘキモノニ有之又本件カ若シ私法上ノ代理行爲ナラハ右支拂通知書ニ町村長ノ肩書ヲ附記セシメサルヲ適當ト認メラレ候ニ付テハ該歳出金ハ町村長カ公務上受領ノモノナルヤ又ハ私法上ノ代理行爲ナルヤ御回示ト共ニ縣當局ニ對シ可然措置方御配慮相煩度候

理由

本件歳出金支拂通知書債主ニ町村長ノ肩書氏名ヲ以テ指定セルモノハ一般ニ收入役ニ支拂ヲ爲スヘキモノナル處青森縣當局ニ於テハ本代理行爲(町村長ノ被救護者ニ對スル代理)ハ私法的ノモノナルニ依リ町村長本人ニ拂渡方ト共ニ債主氏名ニ肩書附記方同執ノモノトス然ルニ青森縣申出ノ如キ取扱ニ應スルコトハ當局取扱上他ノ一般ノモノト紛淆ヲ來シ過誤ヲ増加セシムル虞アルニ付可成例外ヲ認メサルコトトスルヲ可トスヘシ
尙内務省ニ電話ヲ以テ事情問合セノ處處理上ニ於ケル青森縣ノ意見ト内務省意見トニ相違アル様ニ有之ニ付一應文書ヲ以テ確ムルコトト致度



裏面白紙

社
會
局

拜復 陳者六月三日付ヲ以テ御照會有之候軍事救護費ノ支拂方法ニ關
スル公文照會ハ御申越ノ通御照會被下差支無之様存候間御了承被下度
候御返事甚ダ遅延致シ誠ニ恐縮ニ不堪候
敬 具

昭和十一年八月十九日

内務省社會局保護課

三 井

屬

貯金局業務課
小林書記殿

麻布区^{*} 飯倉六^{*}一三^{*}
貯金局業務課
小林書記殿

4.34

23

在中物なし

東京市麴町區外櫻田町一番地

社 會 局

電 話

直 通	私 設 交 換
三二〇〇	五五六六
九七四九	五六一一
八四三三	五六八七
1111	101010
社 會 局	(代 表)
會 務 課	保 障 課
長 官 室	長 官 室
會 務 課	會 務 課
長 官 室	長 官 室
會 務 課	會 務 課
長 官 室	長 官 室
會 務 課	會 務 課
長 官 室	長 官 室

在 中 物 な し

X

11年6月2日

號		
號		
發送	校合	淨書

私信案

貯金局業務課

小林書記

内務省社會局保護課

三井屬宛

拜啓

向夏ノ候愈々御清祥ノ段奉慶賀候
 陳者先般電話ヲ以テ御照會致シ置候
 事救護費ノ支拂方法ニ関シ別紙写ヲ以テ貴局

局長

係長
課長



宛照會致度ノ思料候處 貴見上應承知
致度 亦及照會候也

此の得るに依

一領のりゆき

敬具

照會案

局

名

内務省社會局宛

軍事救護費歳出金支拂ニ関スル件

右ニ関シ昭和七年九月十五日附收社第六三一號ヲ
 以テ御回答ノ次第有之候處 其後 他府縣ニ於
 テモ同様事項^{「同項」}發生^{「有之」}ニ就テハ此ノ際 歳出金支拂
 通知書債主ニ中町村長ノ肩書ヲ附記セザルニ
 全國的ニ統一致度クニ付可然 御配意相煩度
 此段及照會候也

(共 8 號)

貯業

貯金局
第貯業1351號
11.年5.月16日
8-10

國甲第二一號

昭和十一年五月十五日

貯金局長 武田泰郎殿

日本銀行國庫局長

高橋

臻

封皮



裏面白紙

新潟縣ニ於テ軍事救護費ヲ隔地ノ被救護者ニ送金ノ爲メ市町村長何某
ヲ受取人トシテ發行スル歳出金支拂通知書ハ新潟縣知事カ軍事救護法
施行令第一條ニ基キ大正十一年新潟縣訓令第九號ニ依リ市町村長ヲ被
救護者ノ總代人トシテ現金ヲ代理受領セシムル趣旨ニ依リ發行セルモ
ノナル由ニ有之又内務省ニ於テモ軍事救護法施行令第一條ニ依ル救護
ハ同令第八條ノ公共團體等ニ對スル委囑救護ノ場合ト異リ地方長官ノ
指定セル記名受取人其ノ人ニ受領セシムヘキモノナリトノ意嚮ニ有之

候ニ付當行ニ於テ之カ支拂ヲ爲スニ當リテハ前記趣旨ニ基キ市町村長
何某其ノ人ニ受領セシメ居候處新潟縣下各郵便局ニ於テハ市町村長公
職氏名ヲ以テ指定セラレタルモノハ總テ收入役ヲシテ受領セシムヘキ
モノナリトノ仙臺遞信局ノ見解ニ基キ收入役ヲシテ受領セシメ居リ同
縣下ニ於テハ同種歳出金支拂通知書ニ付二様ノ支拂方ヲ爲シ居ルコト
ト相成取扱上面白カラサル様被存候間之カ取扱方ニ付何分御考慮相煩
度此段得貴意候也

追而本件ノ如キ例ハ他府縣ニモ有之様被存候ニ付併テ御配慮相煩度
候

X
23
下

軍事救護法施行令（昭和六年十二月八日勅令第二百八十四號）

第一條 救護ハ救護ヲ受ケントスル者ノ住所地地方長官之ヲ行フ

救護ヲ受ケントスル者ハ地方長官ニ出願スヘシ但シ地方長官必要ア

リト認ムルトキハ其ノ出願ナキ場合ト雖モ救護ヲ行フコトヲ得

救護ノ程度及方法ハ地方長官之ヲ決定ス

第八條 特別ノ必要アル場合ニ於テハ地方長官ハ公共團體、公益法人

其ノ他適當ト認ムル者ニ委嘱シテ救護ヲ行ハシムルコトヲ得

社名
何
三
氏
一
電
記
56117

裏面白紙

昭和十年八月十七日會第七八六號

新潟縣總務部

日本銀行新潟支店

御中

軍事救護費ハ新潟縣訓令第九號（大正十一年四月二十八日）軍事救護
法施行細則取扱手續第一條ニ依リ之カ請求並ニ受取ハ市町村長名ヲ以
テ爲スヘキモノトス

裏面白紙

昭和十年十二月十九日

新潟縣總務部

日本銀行新潟支店
御中

軍事救護法ニ依ル救護取扱方ニ關シ御照會相成候處本縣ハ御來意ノ通
リ勅令第二百八十四號軍事救護法施行令第一條ニ依リ知事ハ市町村長
ヲ被救護者ノ總代人トナサシメ救護ヲ行フ如キ取扱ヲ致居候條御了知
相成度及回答候

裏面白紙

大正十一年四月二十八日

新潟縣訓令第九號

軍事救護法施行細則取扱手續

第一條

市町村長ハ軍事救護法ニヨリ救護ノ許可ヲ得タルモノアルトキハ各其ノ種別ニ從ヒ許可ノ範圍内ニ於テ金品等ノ支給ヲ爲スヘシ但シ知事ニ於テ直接支給ヲ爲ストキ又ハ他ノ公共團體、公益法人其ノ他ノ者ニ對シ救護ヲ委囑シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二條

救護金品ハ許可指令指定ノ日ヨリ異動ノ月迄支給スルモノトス連月救護ノ者ニ在リテハ毎月一日現在ニ依リ其ノ月十五日ヲ以テ支給ノ定日トナスヘシ

但シ其ノ月一日後支給定日迄ニ新ニ現品ヲ給與スヘキモノアリタルト

キハ支給定日ニ支給定日後ノ場合ハ其ノ都度給與スヘシ

第三條

市町村長ニ於テ現品ノ給與ヲ爲シタルトキハ各債主ヨリ適宜ノ請求書ヲ徴シ第一號様式ノ仕譯書（正副二通）ヲ添付シ支給後三日限

めくれず

裏面白紙

り、其ノ現金給與ヲ爲サムトスルトキハ市町村長ハ各被救護者ノ總代人ト爲リ（委任狀ヲ要セス）第二號様式ノ請求書（正副二通）ニ第三號様式ノ仕譯書（正副二通）ヲ添付シ毎月三日限り知事ニ提出スヘシ 但シ其ノ月一日後新ニ現金ヲ給與スヘキ者アリタルトキハ其ノ都度請求スヘシ

第四條 市町村長ニ於テ金品ノ給與ヲ爲ストキハ仕譯書中當該氏名（代人渡ニ依ルトキハ代人何之誰ト記入）ニ受領月日ヲ記入證印セシメ保存スヘシ

第五條 醫療ノ救護ハ本縣ヨリ送付ノ診療券（第四號様式）ニ被救護者ノ希望スル醫師又ハ病院名等ヲ記入交付シ診療ヲ受ケシムヘシ 市町村長前項ノ救護ヲ爲シタルトキハ各債主ヨリ第五號様式ノ請求書ヲ徴シ其ノ月分ヲ翌月三日限り知事ニ提出スヘシ

第六條 市町村長ハ第六號様式ノ受渡簿ヲ調製シ其ノ出納ヲ明確ナラシムヘシ

第七條 市町村長ハ第七號様式ノ軍事救護人名簿ヲ調製シ異動ノ都度之カ
加除訂正ヲ爲スヘシ

第八條 本則ニ依リ町村長ヨリ知事ニ提出スヘキ書類ハ佐渡郡ニ在リテハ
支應長ヲ經由スヘシ

支應長ニ於テ前項ノ書類ヲ受理シタルトキハ直ニ調査ノ上進達スヘ
シ

裏面白紙

仙監調第八三八五號（昭和八年四月四日仙臺逓信局報掲載）

監督課長

郵便局長宛

各廳歲出金取扱方ニ關スル件

記

項目

取扱方

（一六）記名調印方

（イ）町村又ハ町村長
ナルトキ

町村制ニ依リ收入役ニ於テ記名調印（印章ハ職
印使用）セシムルコト

仙監業第一四九一一號

昭和八年六月八日

新潟郵便局長殿

仙臺遞信局監督課長

各應歳出金ニ關スル件 對新郵第二三四號回答
右來照ノ處左記ノ通りニ付了知相成度

記

債主ニ町村長公職氏名ヲ以テ指定セルモノハ町村長カ公務上受領スル
モノト認メラルルヲ以テ町村制ニ依リ收入役記名調印スヘキモノトス

裏面白紙

市制（括弧内ハ町村制）

第九十三條（第七十七條）

市（町村）長其ノ他市（町村）吏員ハ
從來法令又ハ將來法律勅令ノ定ムル所ニ依リ國府縣其ノ他公共團體
ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市（町村）ノ負擔トス但シ法
令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十七條（第八十條）

收入役ハ市（町村）ノ出納其ノ他ノ會計事
務及第九十三條（第七十七條）ノ事務ニ關スル國府縣其ノ他公共團
體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ
此ノ限ニ在ラス（次項以下略）

野金局長武田泰郎殿

使送

在中物なし



昭和拾壹年五月拾五日

日本銀行國庫局長

(奈)

在中物なし